

令和4年度「現代文B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科文系	国語	古典B	3	必修
教科書	高等学校 改訂版 古典B(第一学習社)				
副教材	新版 図説国語(東京書籍) 新版五訂完全マスター古典文法(第一学習社) 必携 新明説漢文(桐原書店)				

学習の目的	
1	国語を尊重し、その向上を図る態度を育成する。
2	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成、伝え合う力を高める。
3	思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

学習の目標	
I 知識・技能	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるために、語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。
C 思考・判断・表現	ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書する態度を身につけるために、様々な文章を通して人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
E 学びに向かう力・人間性等	目的や課題に応じて様々な情報を収集し、活用して進んで表現する。

つきたい力	学習内容を人生や社会のあり方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるための「主体的・対話的で深い学び」を実現することができる。
--------------	---

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査や小テストの結果、課題やレポートの提出状況、学習ポートフォリオ、成果発表状況、作品制作など、総合的に判断して算出します。	○	○	○
◇ 授業に取り組む姿勢としては、予習復習を含む授業態度、グループ活動や発言の状況などを評価の対象とします。		○	
◇ 課題やレポートなどの提出物については、提出期限や分量を守れたか、自分の視点で考察できたか、丁寧に書くことができたかなどを主な評価基準とします。	○		
◇ 考査では、授業での学習内容が理解できているかどうかを確認します。応用問題も出題します。	○	○	
◇ 考査のふり返り学習を行い、学習内容の定着や学びに向かう力を図る参考とします。			○

履修上の注意および学習のアドバイス等	
◇	言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。
◇	授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性	
第1学期	4	《古文》説話「古今著聞集」 小式部内侍が大江山の歌の事 《漢文》故事・寓話「呂氏春秋」 知音	《古文》説話「古今著聞集」 和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、説話の世界を読み味わう。 《漢文》故事・寓話「呂氏春秋」 漢文に親しみ、登場人物の考え方や話の面白さを味わう。	1学期中間 ／1学期期末	「大江山」の歌を聞いた後の、定頼の行動について説明してみよう。 伯牙はなぜ琴を壊したのか、考えてみよう。	○	○	○	
	5	《古文》随筆「徒然草」 よろづのことは、月見るにこそ 《漢文》文章「昌黎先生文集」 雑説	《古文》随筆「徒然草」 筆者の人生観や人間観を読み取り、自らの考えを深める。 《漢文》文章「昌黎先生文集」 漢文に親しみ、登場人物の考え方や話の面白さを味わう。	1学期期末	作者が評価している風物を、評価の言葉とともに整理してみよう。 文中の語句が、それぞれ何のたとえになっているか、考えよう。	○	○	○	
	6	《古文》随筆「方丈記」 ゆく河の流れ 《漢詩》香炉峰の雪 《古文》随筆「枕草子」 雪のいと高う降りたるを	《古文》随筆「方丈記」 筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。 《漢詩》香炉峰の雪 中国詩の最高峰とされる唐詩に親しむ。 《古文》随筆「枕草子」 筆者の漢詩の教養を踏まえて当時の美意識を理解する。	1学期期末	作者の無常観についてまとめよう。	○	○	○	
				2学期中間	「御簾を高く上げれば」という行為は、中宮の出した課題にどのように答えたことになったのか、考えよう（「香炉峰の雪」を踏まえて）。	○	○	○	
	第2学期	9	《漢文》史伝「史記」 鴻門之会 四面楚歌 《古文》物語「源氏物語」 光る君誕生	《漢文》史伝「史記」 話の展開を読み取るとともに、古代中国の史伝の面白さや登場人物の魅力を読み味わう。 《古文》物語「源氏物語」 登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、古典文学に対する興味関心を高める。	2学期中間	項王方と沛公方の人物について、行動（役割）と心理を整理してみよう。	○	○	○
					2学期期末	光る君の誕生前と誕生後とで、桐壺の更衣に対する、帝や、他の女御・更衣の態度がどのように変わったか、まとめよう。	○	○	○
11		《古文》物語「源氏物語」 若紫 《漢文》思想「儒家」 孟子 荀子	《古文》物語「源氏物語」 登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、古典文学に対する興味関心を高める。 《漢文》思想「儒家」 儒家・道家の思想を学び、人間の生き方について考える。	2学期期末	「はつ草の」の歌が「生ひ立たむ」の歌のどのような言葉を受けてよまれているか、考えてみよう。	○	○	○	
学年末				性善説と「王道」政治とは、どのように関係するか、考えてみよう。	○	○	○		
第3学期	1	《古文》日記「更級日記」 門出 《漢文》思想「道家」 老子	《古文》日記「更級日記」 作者の体験や心情を読み取り女流日記文学を読み味わう。 《漢文》思想「道家」 儒家・道家の思想を学び、人間の生き方について考える。	学年末	少女の憧れと惜別の情のよく出ている箇所を指摘してみよう。	○	○	○	
					老子の、世の中に対する批判について考えてみよう。	○	○	○	
	3	《和歌》 《漢詩》	《和歌》《漢詩》 古典の韻文に触れ、技巧や主題を理解する。		和歌にどのような心情が表現されているかを考え、その心情を味わってみよう。 それぞれの詩には、どのような気持ちがかめられているか、考えてみよう。	○	○	○	

※行事等に変更になる場合があります。